

# ギネス世界記録のネコたち

～人の暮らしのとなりで愛されてきた猫たち～



## 世界でもっとも長い猫

鼻の先から尻尾の先まで

**118.33cm**のルドくん！！(2015年 イギリス)

7才の子どもの身長と同じくらい！！



## 世界でもっとも小さい猫

記録上の最小猫は、高さ**7cm**、長さ**19cm**の  
ティンカートイちゃん(成猫時点) (1997年没 アメリカ)



## 世界でもっとも長いひげ

メインクーンのミッシーちゃんのひげは**19cm**！！  
(2005年 フィンランド)

世界最小の猫の大きさと  
同じ！？

「静かな車や普通の会話」の  
音の大きさだそうです。  
ちょっとうるさいかも...



## 世界一大きい音での ゴロゴロ♪

マーリンちゃんのご機嫌なゴロゴロ音は  
**67.8db**！ (2015年 イギリス)



## 世界でもっとも長寿の猫

記録上最長寿の猫は  
クリームパフちゃん、**38年と3日** (2004年没 アメリカ)

存命中の最高齢記録は、  
2016年に30歳で亡くなった猫以降空席のようです。  
そのアニヤタ！エントリーしてみませんか☆

昔から、人と猫は絆を結んで  
暮らしてきているんですね



## 世界最古の飼い猫

キプロスの**9,500年前**の遺跡から、  
人の骨と猫の骨が隣り合って発見されています。



## 世界でもっとも YouTubeで視聴された動物

世界中で愛される日本のマルちゃん。  
2016年時点で総再生回数は3億超えの**325,704,506回**！！

猫のNo1じゃないです！  
動物でNo1です！

ギネスの公式動画をどうぞ



# ヒトとネコの共通感染症

～愛する猫から病気をもらわないためにできること～

- ✓ 飼い主自身が健康であること  
(基礎疾患がコントロールできていること)
- ✓ 猫が健康であるために、適切な予防や治療、  
日常ケアができていること
- ✓ 猫は家の中で飼い、トイレを清潔に保つこと
- ✓ 猫に触ったあとは、手を洗うこと



- ✓ 猫と濃厚な接触をしない  
(口移し、キス、食器や箸の共有、同じ布団で寝る...)
- ✓ 免疫力の弱い人(乳幼児、高齢者、基礎疾患のある人)は、  
猫との関わりに、特に注意する
- ✓ 病気(鼻汁、目やに、皮膚病など)の猫に触らない
- ✓ 野外の猫、若い猫、ノミのついた猫などから  
咬まれたり引っかけられたりしないよう注意する

## トキソプラズマ症

猫の体の中に寄生する  
トキソプラズマという原虫による感染症です。  
猫の便の中のオーシスト(感染源)が  
ほこりや土に混じって人の口や傷口から感染します。



ほとんど無症状  
※無症状でも、感染後3週間は  
糞便中に感染源が含まれます



健康な人では多くは無症状  
妊娠中に初感染すると  
流産や胎児感染の危険あり

- 猫のうんちは速やかに片付け  
トイレを清潔に保ちましょう！
- 感染歴のない妊婦さんは特に注意！
- 豚の生肉から感染することもあります  
猫に生肉を食べさせないで！

## 皮膚糸状菌症

土壌に生息するカビの一種(皮膚糸状菌)による  
感染症です。  
土からの付着のほか  
感染した動物やそのフケ・毛との接触や  
タオルやマットの共用で感染することがあります。



鱗屑(フケ)の増加  
脱毛、皮膚炎



頭部の境界明瞭なフケや脱毛  
皮膚の円形状の炎症や小水疱等

- 感染した猫には接触しない！
- 猫に触ったあとは、しっかり手洗い！
- 生活環境を清潔に保ちましょう！



## コリネバクテリウム ・ウルセランス感染症

人の病気「ジフテリア」の原因菌と同じ属に分類される細菌による感染症です。  
近年は、犬や猫が感染源と思われる例が増えています。  
感染した猫の鼻汁や目やに、皮膚などへの接触感染や飛沫感染により感染します。



くしゃみ・鼻水、皮膚病  
※無症状のこともあります



初期は発熱・鼻水など  
咽頭痛、咳などを経て症状が悪化していく

- 症状の出ている犬・猫との接触は避けましょう！
- 飼い猫の体調が悪いときは、受診しましょう！
- 人の定期接種となっているジフテリアワクチン（3種混合、4種混合など）に、感染を防ぐ効果があると考えられています。家族にワクチン接種歴がないときは、医師に相談してみましょう！



## 口腔内常在細菌による感染症

猫に咬まれたり、濃厚接触することで猫の口の中の細菌に感染します。

- ・パストレラ属菌：国内の猫の97%が口腔内に、20%が爪に保菌
- ・カプノサイトファーガ・カニモルサス菌：国内の猫の57%が口腔内に保菌



無症状  
(まれに、抵抗力の下がった猫で肺炎など)



パストレラ症では、風邪や肺炎、喘息などの症状のほか、咬まれた部位に腫れ、激痛、皮膚症状がでることもある  
カプノサイトファーガ・カニモルサスでは、発熱、倦怠感、頭痛、腹痛、吐き気などの全身症状がでる

- 猫との濃厚接触はやめましょう！
- 猫に触ったあとは、しっかり手洗い！



## ノミによる刺咬傷

ノミの成虫が、猫から人に一時的に寄生することで吸血されます。ほとんどがネコノミで、体長は1.5mm程度、オスメスともに吸血します。



痒みを伴う皮膚炎  
ノミアレルギーによる皮膚炎



吸血部の激しい痒みと丘疹  
※1回の吸血であっても症状が長く続くことが多い

- ノミは吸血するだけでなく病気を媒介することもあります！
- 最近の家は暖かいので1年中注意が必要です！
- 室内飼育で猫にノミをつけない！飼い主も、外でノミをつけてこない！



## 猫ひっかき病

猫の赤血球に寄生した細菌による感染症です。ノミが菌を媒介します。猫に咬まれたり、引っ掻かれたりして感染します。



ほとんど無症状  
※初感染後、数ヶ月～数年間は菌血症となり、その後、菌は消失します



外傷部の水泡や化膿、潰瘍、リンパ節炎、発熱、頭痛など。重症例では脳炎も

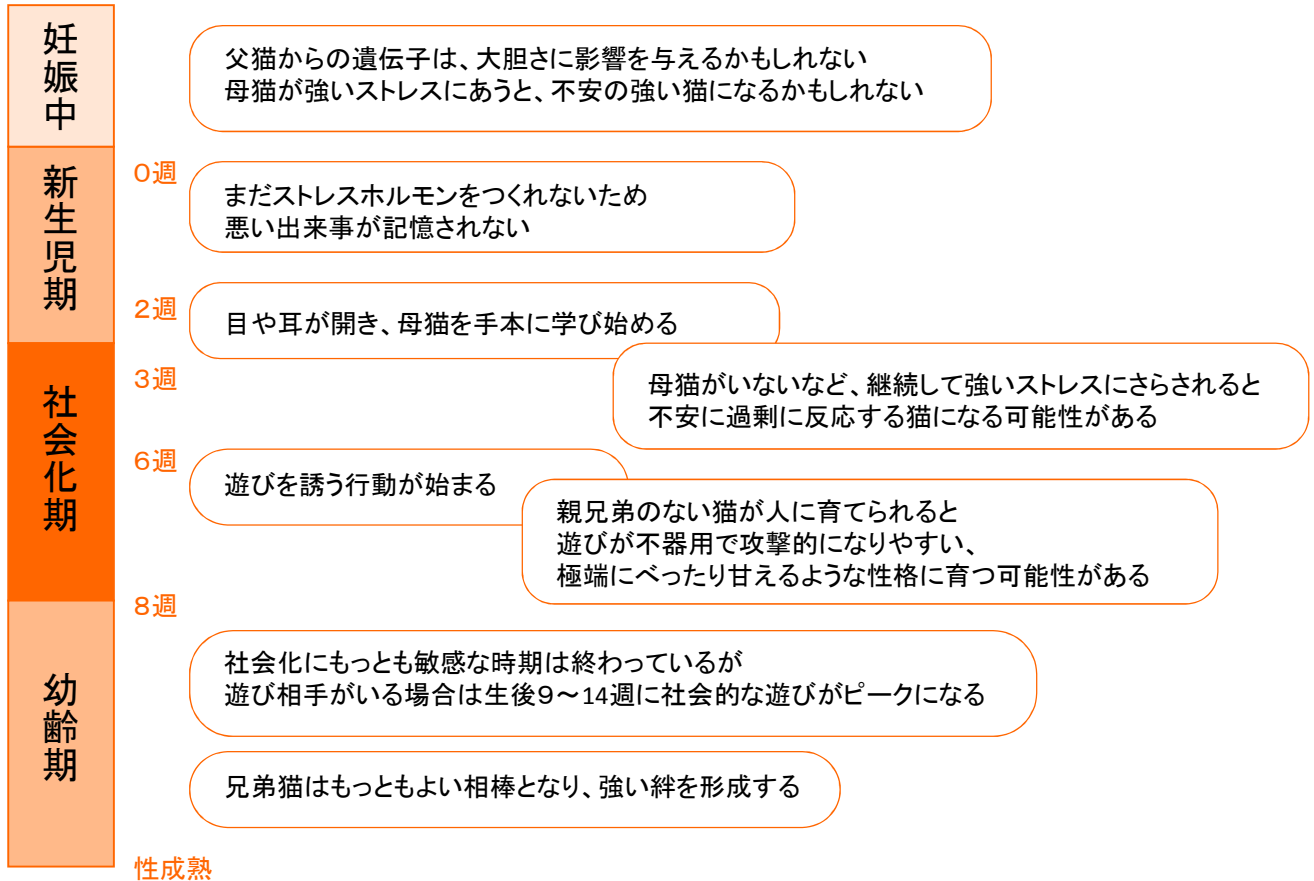
- ノミの駆除が重要です！
- 子猫・若猫、ノミのついた猫には特に注意しましょう！

# ネコの心をさぐる

～猫の心はどのように育ち、何を思うのか～



## 人との関わり方や愛着はどのように育つ？



### 社会化期は

- ・人が触った時間が長いほど、より友好的な猫に育つ
- ・複数の人に会わせると、人を怖がらない猫になる
- ・一人にしか接していないと、その人にはなつくが、見知らぬ人を警戒するようになる
- ・人との出会いとふれあいが遅くなるほど、猫は友好的ではなくなる
- ・譲渡時期がいつであっても、生後3～8週の人に十分に触られた猫は、新しい環境に適応し、新しい飼い主と愛着を結ぶ可能性が高い



## 社会化期に、複数の人が触ることが不可欠！！

### 研究①

生後3週から人が手で触った猫は、幼齢期には人の膝に座り、人に駆け寄る猫になった。その後成長しても、人に対する強い愛着が見られた。  
生後7週から人が触った猫は、人を怖がらないが、膝に乗せると30秒で逃げた。その後成長すると、生後14週から触った猫と、人への振る舞いに差がなくなった。

### 研究②

毎日15分人と触れ合った猫は人を見ると近づいていく猫になり、毎日40分人と触れ合った猫は人の膝の上を好んで過ごす猫になった。

### 研究③

野外で育ち生後6週で初めて人と出会った猫は、なでも喉をゴロゴロ鳴らさなかった。  
生後8週で人と出会った猫は扱うのが難しい。  
生後10週では、最初のうちはまるでヤマネコのように、成長しても人がそばにいると落ち着かない猫になる可能性がある。



## 猫はどのように学習する？

犬とは異なり、  
「人の関心」を報酬(ご褒美)とは感じない  
**愛情ではなく、食べものがほしい**

はっきりした報酬や罰がなくても、  
自発的に学ぶ

新しいものや変化したものを  
徹底的に調べる  
**静かな学び**

人との関わり方も、教えなくても学んでいる  
**人にもわかりやすい表現が増える**

尾をまっすぐ  
立てる

**愛情の  
サイン**

人に体を  
こすりつける

**愛情の  
サイン**

「にゃー」  
と鳴く

**注意を  
ひく**

鳴き声を  
様々に変える

**要求を  
伝える**

※猫同士のコミュニケーションでは「にゃー」と鳴かない！



## 猫の気持ちとストレス？

猫は感情をかくす達人！  
**かくしていても、不安は苦痛になります**

猫の基本的な感情は「直観」！  
**猫は迷わない**

猫も嫉妬する！？



ストレスの原因として多いと考えられているのは...

- ・同じ家で暮らす(信頼していない)猫との関係
- ・清潔ではないトイレ環境

■ 静かにストレスをためている(かもしれない)猫のために、猫の数だけ用意してあげましょう

- 快適な居場所(高い場所、隠れる場所、温かい場所、寝床)
- 清潔なトイレ ○ ごはんのお皿 ○ 愛情！！

■ 既に猫がいる家に新しく猫を迎えたいときは、事前にしっかり計画を立てましょう

## 猫たちの関係チェック表

### お互いにうまくいっている猫

- お互いに会うときに尻尾を立てる
- 通りすがりにお互い体をすりつけあう
- お互いにくっついて眠る
- 穏やかな「ケンカの真似」ゲームをする
- おもちゃを共有する
- 同じお皿から食べる



### うまくいっていない猫

- 会うとシャーッと言い、唾を吐く
- 接触を避ける
- かなり離れた場所で眠る、防御体制で眠る
- お互いに追いかけたり、逃げたりする
- 同じ空間では、お互いに熱心に観察する
- 飼い主に対し、別々に交流する

